

## 第9回国立国会図書館契約監視委員会議事概要

開催日及び場所	平成24年9月18日(火)午後1時30分～午後3時30分 国立国会図書館総務課第二会議室	
委員長及び委員	委員長 山口俊明(公認会計士) 委員 本田実(城西国際大学IT教育センター教授) 委員 山本清(東京大学大学院教育学研究科教授)	
審議対象契約期間	平成23年4月1日～平成24年3月31日	
指名停止の運用状況	1件 労働安全衛生法違反(平成24年7月24日～8月23日)	
抽出事案(件)	5	(備考) 事案総数279件
競争入札(公共工事)(件)	2	契約件名:館内レイアウト変更に伴う電源等改修工事 1式 場所:国立国会図書館東京本館 契約相手方:高野電気工業株式会社 契約金額:4,720,800円 契約締結日:平成23年9月14日 担当部局:総務部会計課
		契約件名:国立国会図書館資料搬送設備整備事業 場所:国立国会図書館関西館 契約相手方:(株)IHIロジテック 大阪サービスセンター 契約金額:10,542,000円 契約締結日:平成23年12月2日 担当部局:関西館総務課
競争入札(物品役務等)(件)	1	契約件名:国立国会図書館関西館電話交換機設備の保守 1式 契約相手方:日本電気株式会社関西支社 契約金額:5,422,032円 契約締結日:平成23年4月1日 担当部局:関西館総務課
随意契約(物品役務等)(件)	2	契約件名:「太平記 22冊」の購入 契約相手方:合名会社一誠堂書店 契約金額:15,750,000円 契約締結日:平成23年6月22日 担当部局:収集書誌部
		契約件名:東日本大震災アーカイブシステム用データセンタの賃貸借・保守 1式 契約相手方:株式会社エヌ・ティ・ティ・データ 契約金額:6,099,975円 契約締結日:平成24年3月30日 担当部局:総務部会計課
委員からの意見・質問、それに対する回答等	別紙のとおり	
委員会による意見の具申又は勧告	なし	
抽出委員の選出	本田委員を次回の抽出委員に指定した。	

## 別紙

意見・質問	回答等
<p>・館内レイアウト変更に伴う電源改修工事において、入札価格で他と比較してかなり高い金額を付した業者がいるが理由を聴取したか。</p>	<p>・特に理由を聴取したわけではないが、該当業者は当館の入札の経験が少なく経費等を高めに設定したのではないかと。入札経験のある他の業者は低めに設定している。</p>
<p>・資料搬送設備整備工事が1者入札であった理由はどのようなものか。</p>	<p>・該当設備は落札業者が製造設置したもので、同者が専門に整備を行っており、他の業者では困難であったため。</p>
<p>・上記のような案件では、競争入札に当てはまらないのではないかと。</p>	<p>・特定業者しか取り扱えないと考えられるものでも、その業者のみ可能であることを確認するため入札を行った。</p>
<p>・機器の整備や保守についても、システム開発と同様に調達時にドキュメント等の情報を開示することで他の業者も参入可能となる。</p>	<p>・入札を行う際に、資料の閲覧について可能なようにしているが、なお一層の努力をしていきたい。</p>
<p>・1者入札では、どのような形にでも契約を整えることが可能であるため疑われやすい。公正さを担保するため、予定価格の設定などに調達委員会を通すなどしたほうがよい。</p>	<p>・御意見については了解した。今後について検討していきたい。</p>
<p>・古書・貴重書の購入については理由が抽象的であるが、どのような判断で誰が決定しているのか。</p>	<p>・資料の購入には分野ごとに担当があり、古典籍資料は人文課が担当している。高額なものについては、担当課が選書後、収集書誌部で調整し、決裁を行い決定している。</p>
<p>・古書・貴重書の予定価格はどのように決定しているのか。特別なものの購入の場合、価格がつけにくく予定価格になじまないのではないかと。</p>	<p>・価格の妥当性を確認するために予定価格を決定している。市場に出ているものについては、カタログの利用や古書籍商組合に定価証明を依頼するなどを行っている。また、市場に出ていないものについては、外部の購入図書評価委員に価格評価を依頼している。</p>
<p>・東日本大震災アーカイブシステム関連で、情報システムのリニューアルについて、特定業者が多くを占めているようだが、もう少し偏らないようにできないか。</p>	<p>・できるだけ多くの業者に入札に参加してもらうよう声はかけている。</p>

<ul style="list-style-type: none"><li>・「東日本大震災アーカイブシステム用データセンタの賃貸借・保守 1 式」が随意契約となっているが、データセンタの使用料金について、一般市場の価格を調査し、交渉条件としたのか。</li><li>・契約期間の根拠は何か。また、情報探索サービスシステム関連の契約で契約の終期がずれているものがあるが、先に終了するものはどうするのか。</li><li>・データセンタの契約の経緯自体に問題があるのではないか。今後のことも含めて考えるべき。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・今後は市場価格を十分に調査した上で、交渉することとしたい。</li><li>・契約期間は関連の深い情報探索サービスシステムと連動している。情報探索サービスシステムについては、再リース期間を調整し、契約期間を合わせる想定である。</li><li>・当館として初めての業務が含まれている。システム再構築の際、改めて検討していくことにしたい。</li></ul>
---	---